

各地で大雨による被害が相次いでいます。被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

フェニックス PHOENIX

＜発行者＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
http://www.kohkuren.org/

航空法が課す客室乗務員の幅広い職務

機内の安全確保重い責任

乗務資格は航空会社任せ

航空連・客室乗務員連絡会（客乗連）は、客室乗務員に対してパイロットや航空整備士同様、国による技能資格証（ライセンス）を交付すべきと考えます。航空法は客室乗務員に対し多くの保安上の職務を課していますが、航空従事者に位置していません。またその乗務資格は各企業任せに留まっています。コロナ禍が長期化するなか、機内でのマスク着用をめぐるとラフルなどが多数報告されています。機内秩序の維持は安全運航の大前提であり、その職務を担うのは客室乗務員です。このような重要な任務を担う客室乗務員に、なぜ国によるライセンスの交付が必要なのか、その必要性、根拠、そして私たちが求めることについて、3回に分けて報告します。

また非常用扉付属の緊急脱出時に使用する脱出ユニット、救命ボイなどを使用可能な状態であることも含まれます。航空法第六十条、救急用具には「国土交通省令で定める航空機には、落下傘、救命用衣、非常用無線機その他の国土交通省令で定める救急用具を装備しなければ、これを航空の用に供してはならない」とあります。航空機を航空の用に供するためには法が定めるように、救命用衣を始めとする救急用具が、定められた場所に、定められた数だけ使用可能な状態で搭載されているなければなりません。救命ボイ（救急命胴衣や非常用信号灯のほか、幼児用救命胴衣、電気火災やあらゆる機内火災発生時に使用するハロゲン消火器、再燃防止に

航空法第七十三条の二（出発前の確認）には、「機長は、国土交通省令で定めるところにより、航空機が運航に支障がないことその他の運航に必要な準備が整っていることを確認した後でなければ、航空機を出発させてはならない」とあります。国土交通省令の定める「運航に支障がないこと」とは、航空機エンジンや機体に異常がないことを確認するのほかに、客室の非常用扉に異常がないこと、

も使用できる水消火器、フラッシュライト（懐中電灯）、メガホン（拡声器）、非常食（国際線）、また病人発生時に使用する酸素ボンブと酸素マスク、AED（自動体外式除細動器）を始めとする救急救命時に使用する医療関連装備品なども含まれます。これら客室乗務員の救急用具の確認は、客室乗務員が行います。第七十三条の四（安全阻害行為等の禁止）には、機長は、航空機内にいる者が、離陸のため当該航空機のすべての乗降口が閉ざされた時から着陸の後降機のためこれらの乗降口のうちのいずれかが開かれる時まで、又は全阻害行為等をして、又はしようとして、又は信するに足りる相当な理由があるときは、当該航空機の安全の保持、当該航空機内にあるその者以外の者若しくは財産の保護又は当該航空機内の秩序若しくは航空安全の確保のために必要の限度で、その者に対し拘束その他安全阻害行為等を抑制するための措置（第五項の規定に

- 主な記事から■
- ▶ 各社、経費削減で収支改善。解消されない生活不安、広がる感染、支援と対策強化を――2面
 - ▶ 「空のインフラ」・雇用維持支援など、航空局の「航空運送事業基盤強化方針」――2面
 - ▶ JAL争議：各地で平和と安全、争議解決求める――3面
 - ▶ KLM雇い止め撤回裁判、原告3名が証言。「訓練はKLM客室乗務員を養成するため」3面
 - ▶ 奄美地域の混雑緩和へ。ターミナル・レーダー管制化――4面
 - ▶ IATA事務局「迷惑旅客は大きな懸念材料」――4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org



緊急事態のなかで業務にあたる客室乗務員。123便事故報道写真より

客室乗務員とライセンス

客室乗務員は、機内での安全確保に重要な役割を担っています。航空法は客室乗務員に対し多くの保安上の職務を課していますが、航空従事者に位置していません。またその乗務資格は各企業任せに留まっています。コロナ禍が長期化するなか、機内でのマスク着用をめぐるとラフルなどが多数報告されています。機内秩序の維持は安全運航の大前提であり、その職務を担うのは客室乗務員です。このような重要な任務を担う客室乗務員に、なぜ国によるライセンスの交付が必要なのか、その必要性、根拠、そして私たちが求めることについて、3回に分けて報告します。

法的な裏付け重要な意味

客室乗務員は、機内での安全確保に重要な役割を担っています。航空法は客室乗務員に対し多くの保安上の職務を課していますが、航空従事者に位置していません。またその乗務資格は各企業任せに留まっています。コロナ禍が長期化するなか、機内でのマスク着用をめぐるとラフルなどが多数報告されています。機内秩序の維持は安全運航の大前提であり、その職務を担うのは客室乗務員です。このような重要な任務を担う客室乗務員に、なぜ国によるライセンスの交付が必要なのか、その必要性、根拠、そして私たちが求めることについて、3回に分けて報告します。

（客乗連事務局）

2年前の秋の出来事です。組合の会議を終え帰宅途中の電車内で、急に具合が悪くなりました。この日は台風の接近で夕方から風雨が強まり、電車の運行も危ぶまれました。何とか自宅にたどり着き、ベッドに横になったものの、一向に具合は良くなりません。我慢に我慢を重ね、台風がピークを過ぎた未明、妻に救急車の手配を依頼。自宅前で救急車に乗り込み、救急隊員の聞き取りに答えます。その後、10分程度で搬送先の病院が決まりました。車内では信号などで減速するたびに「早く着いて」と願うばかり。病院では20分程度でしたが、苦痛がやわらぐ者にとっては辛い時間でした。新型コロナウイルスの感染が急増するなか感染者が入院先を探して見つからないケースが相次いで報道されています。救急室内で4時間探しても見つからず自宅待機になった例や、数十カ所に電話しても見つからず、保健所が医療機関に「一晩だけでも」と頼み込んだり、妊婦の悲惨な事例も●東京都（8月22日時点）によると、新型コロナウイルスの感染者で、入院療養中等調整中は147726人にも上ります。医療も保健所も逼迫し、適切な医療を受けられない人たちがこなっています。「国民の安全、安心は」。●

（客乗連事務局）

不安解消へ対応急務

各社、経費削減で収支改善

欧米では、ワクチン接種の進展と航空需要の高まりにより、危機的だった航空会社の経営状況は改善方向にあります。米大手航空会社の21年第2四半期決算は黒字に転換し、EJ大手航空会社では赤字幅を大幅に圧縮させています。日本国内の大手3社の第1四半期決算は、人件費を始めとした経費削減によって赤字額は改善したものの、緊急事態宣言の延長などによって旅客需要は予想を下回りました。一方、職場では賃金減少や在宅勤務、出向などの長期化により先行き不安が解消されません。職場では、新型コロナウイルス感染者の報告も相次いでおり、感染対策強化や不安解消に向けた対応強化が急務です。



成田空港を出発する航空機

米航空大手3社の21年第2四半期（4月～6月）決算は、デルタ航空とアメリカン航空が黒字に転換しました。ユナイテッド航空は黒字にならなかったものの、損失を大幅に圧縮しました。英プリティッシュ・エアウェイズを傘下につつ、インターナショナル・エアラインズ・グループ（IA）の第2四半期（4～6月期）の連結最終損益は9・81億ユーロ（約1

新型コロナと航空

275億円の赤字で、前年同期比で大幅に赤字を圧縮しました。ANAとJALの21年第1四半期決算は、ANAの売上1989億円（前年同期1211.6億円）、営業損益64.6億円（同▲159.1億円）の赤字。JALの売上は1330億円（同64.4億円）、営業損益は7.6

8億円（前年同期▲128.2億円）の赤字。賃金を始めとした経費削減、雇用調整助成金の給付によって赤字幅を改善しています。ANAグループの片野坂CEOは、「売上は計画値に届かなかったが、貨物収入は過去最高となり、大型機の売却、人件費など固定費の抑制により、営業費用が減少した」と述べている一方で、Zoomやサードパーティの結果から「心身の健康や生活面の不安、品質とコストのバランスへの懸念の声や、若い世代で『将来への期待』が低位にあり、運航乗務員の職場でのハワハラ問題など、懸念すべき状況への対応を急ぐ」と述べています。

JALは組合に対する決算説明で、出向者が現在700名から1800名に増え、「雇用調整助成金や出向をしっかりと取り入れたい」とし、「旅客の伸びは低価格帯の観望の戻りが早い。JALでも規制緩和、ワクチン接種が進めば観光が伸びていくと想定している」との見通しをしています。一方職場では、出向や在宅勤務の長期化による業務への影響や、従業員の感染の増加など不安材料の報告があげられています。

広がる感染 支援と対策強化を

航空局の「航空運送事業基盤強化方針」

航空局は、航空ネットワークの維持やドローンなどの無人航空機の活用などを盛り込んだ航空法等一部改正法の成立を受け、6月22日に「航空輸

送事業基盤強化方針」を策定しました。いったいどんな内容なのか、特徴をみていきます。

強化方針は、「新型コロナウイルスの影響の長期化により、過去に例を見ない規模で航空需要の大幅な減少が続く、国内航空会社は巨額の赤字を計上するなど航空運送事業に甚大な影響が生じており、我

が国の国際および国内の航空ネットワークの形成に支障をきたすおそれがある」と認められる事態が発生しているとの認識のもと、利用者利便に重大な影響を回避するとともに、安全かつ安定的な輸送を確保するため、航空運送事業の基盤強化に関する方針として、以下

第一の「航空運送事業の基盤強化の意義及び目標に関する事項」では、2020年5月には国内

・国際線ともに対前年比90%超に減少し、2020年度の航空会社や空港会社の売上高は約2兆円となり、18年度の売上高約5兆円と比べ、約4割に程度の規模にまで落ち込んだ。

一方、航空ネットワークは、公共交通機関として国民の社会経済活動を支えるとともに、ポスト

コロナの我が国の成長戦略の実現に不可欠な「空のインフラ」であり、幹線、地方路線、離島路線

を含め、人々の日々の生活を支えるとともに、地域の社会経済活動を支える基盤として、欠くことができない。

また、航空・空港関連企業は、約24万人の雇用を支えており、日々の安全運航を支え、航空ネットワークの維持・確保の観点からも、その雇用維持は極めて重要と述べ、政府としても、雇用維持のための支援を行うことが必要不可欠と述べています。

第二の「航空運送事業の基盤強化のために政府が実施すべき施策に関する事項」では、①航空会社の機材投資等の支援のための施策として、2021年度は200億円規模の公租公課の返還に係る着陸料、停留料、航行援助施設料の合計で約9割削減1900億円、航空燃料税軽減措置（従来軽減からさらに2分の1の）の減免の実施、②資金繰り等のための施策、③雇用維持のための施策、④収益性向上努力を支援するための

施策として、感染対策の補助や航空需要獲得等の支援、⑤コスト削減努力を支援する施策として、乗員・整備分野における安全にかかわる手続の合理化・柔軟化等、⑥カーボンニュートラルへの対応など国際競争力のための施策を積極的に進める。

第三の「空港の機能の確保のために政府が実施すべき施策に関する事項」空港施設やグラウンドハンドリング、航空機給油、保安検査等のサービスを提供する企業への支援と、空港整備を進め、航空運送事業の維持・強化のための施策と

して、2020年1月制定された「ブランドハンドリング アクシヨンプラン」を踏まえた体制強化を図る。②雇用維持のための施策として支援を行う。

第四の「航空輸送事業の基盤強化のために定期航空旅客運送事業者が講ずべき措置に関する事項」では、事業構造の改革や財務基盤の強化、雇用維持などを打ち出している。本方針については、新型コロナウイルスの航空会社に対する影響の程度により変更し、「甚大影響事態」の状況が解消した場合は廃止となります。



「空のインフラ」・雇用維持支援など

航空連・東京南部法律事務所共催

無料法律相談のご案内

コロナ禍での賃金や雇用に関する問題
日常の法律に関する問題でお困りの方 ぜひご相談下さい

【日 時】9月27日(月) 13:00~15:00
【場 所】東京南部法律事務所
JR蒲田駅東口徒歩2分
【対象者】航空労働者

<相談手続き>
前日までに電話もしくはe-mailにて申し込みください。
申し込み先: 航空労組連絡会
電話: 03-3742-3251
e-mail: honbu@kohkuren.org
相談は弁護士が個別に対応します。
▶相談時間: 1人(もしくは1件)30分

以上

約6000名が退職しました。このため職場からは「復した際に相当の労働強化になる」との不安の声が上がっています。

職場の3密対策や非接触型への転換など、感染対策強化が急務になっています。

各地で平和と安全、争議解決求める

福岡の支える会が宣伝 愛媛の支える会が宣伝

榊原事務局次長 既成乗員の採用許されない

新型コロナの感染拡大がとまらず、緊急事態宣言が延長・拡大されるなか、JAL争議の解決を求める宣伝行動は中断や縮小を余儀なくされています。

JAL解雇争議

こうした中でも、争議団や支援者らは感染対策に気を配りながら様々な活動を行っています。全国に33あるJAL解雇争議を支援する共闘会議や支える会でも夏の取り組みが展開されました。



松山空港での宣伝に参加したみなさん。8月12日

7月28日には博多駅前の宣伝行動が取り組まれ、早期解決を求めるビラを配布しました。パイロット原告でもあり福岡市在住の榊原事務局次長は「JALは、解雇争議を早くも解決しないまま今日に至っているにも関わらず、既成乗員の採用を行おうとしている。絶対に許すわけにはいかな」と話します。

愛媛県では、客乗原告の林さんと大池さんが愛媛の「支える会」と一緒に、解決を求める宣伝行動やオルク活動を続けています。8月1日の愛媛県主催の県原爆死者慰霊祭に向け、会場となる松山市内の石手川公園の清掃活動が前日の7月31日に行われ、客乗原告の林さんが参加しました。123便事故から36年を迎えた8月12日は、松山空港で愛媛の「支える会」による宣伝行動が取り組まれました。1、3便事故故で亡くなった20名の中には愛媛県出身者が5名含まれていました。支える会の理事事務局長は「コロナ禍で困難な時代だからこそ労働者の権利を真正面に捉え、不当解雇と闘う愛媛の争議団を応援しよう」と呼びかけました。宣伝行動には、愛媛在住の客乗原告の林さん、大池さんが参加しました。同日は、JR岡山駅前でも「JAL争議を支援する岡山の会」による「御嶽山のジャンボジェット機墜落事故から36年、空の安全を願う追悼宣伝」が取り組まれました。

8月6日、東岡佐ヶ谷で、市民団体主催による「ユー・エフ・エム・エー・エム・エー」の宣伝活動が行われました。

「支える会」が開催され、JAL争議団からフェットクス合唱団が参加し、支援の歌と「あの空へ帰ろう」「菜の花のうた」の2曲を披露しました。会場では物販販売も行い会場参加いただいたみなさんに協力をお願いしました。

8月19日には、客乗原告の内田団長と石賀さんが、日本IBMの不当な組合差別と闘うJMITU・日本IBM支部の「日本IBM定年再雇用員金差別裁判」を傍聴支援しました。裁判後にはJAL争議の解決に向けた支援を訴えました。IBM争議団とは様々な取り組みを通じ連携してきた経緯もありました。争議団同士の連携は、情報交換はもとよりお互いを励まし、切磋琢磨し争議解決に向けた運動強化につながります。

21夏闘争交渉。CCUとの団体交渉の場で日本航空の団体財務部長から「整理解雇問題はこれから背負っていく問題だ」と思っている。申し訳ないことをしたと謝罪している。これまでにない会社発言がありました。この発言を争議解決につなげることが必要です。組合は地上のマッチング・乗務職での復職、解決金を求め交渉を継続します。

引き続きのご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

「支える会」が開催され、JAL争議団からフェットクス合唱団が参加し、支援の歌と「あの空へ帰ろう」「菜の花のうた」の2曲を披露しました。会場では物販販売も行い会場参加いただいたみなさんに協力をお願いしました。

KLM雇い止め撤回裁判 組合員3名 力強く証言

ジャパンキャビンクルーユニオン（JCU）組合員が、KLMオランダ航空に雇い止め撤回と復職を求めていた裁判で、会社が労働審判を不服として裁判となった第3陣裁判が8月5日、東京地裁で行われ組合側3名の証人尋問が行われました。

裁判では、採用後にオランダ本国で行われた2カ月の訓練期間がKLMの雇用か否かが争点になっています。雇用なら雇用期間が9年2ヵ月となり、労働契約法28条により無期雇用に切り替わります。労働審判では、雇用期間と認め無期雇用転換を認めています。

会社の主張は、「訓練はE.U.客室乗務員認証（資格）を取得させるためのも。訓練契約には訓練に合格したら雇用契約を結ぶと記され、訓練終了後に雇用契約を締結している。したがって雇用ではない」というものでした。

証言した原告（組合員）は、採用を通知するメールには「ワエルカム・アット・KLM（KLMは「ようこそ」と書かれ、社名書きと連絡メールアドレスボックス書きが記載されており、社員となったことを実感した」と証言。KLM入社前にE.U.



東京地裁前での宣伝行動。8月5日

「E.U.認証保持者に対しては、KLMはもうしなことを全く気にせず訓練を行っている。客室乗務員として最も重要な保安任務は、会社によって手順や指示する用語も違っている。旅客サービスも会社によって特徴があり異なる。客室乗務員はチームとして業務を行っており、同じ訓練を受けなければチームの一員に

JCU 全日空と3回目の団交 客乗職の職場改善求め

JCUは7月28日、全日空と客室乗務員の職場改善要求について3回目の団体交渉を行いました。

「国内線と近距離国際線のフライト時労基法に基づき休憩付与」の要求について会社は、「法律通りの運用が適正にされている」と答える一方で、休憩が必要と必要でないとも言えない「チーフパーサー」客室乗務員はCAの業務状況を見ながらトータルマネジメントする。休憩だけ抜き出してということではない」と矛盾した

答え方でした。労基法では、労働時間が6時間を超えた場合は45分、8時間を超えた場合は1時間の休憩、またはそれに代わる時間（レスト等）の付与が必要であり、無効になる可能性があります。JCUは、改めて調査を求めました。8月26日には4回目の団体交渉が行われ、60歳以降も希望者は乗務できる制度への見直し、職場での人権侵害問題についてJCUの見解を質しました。

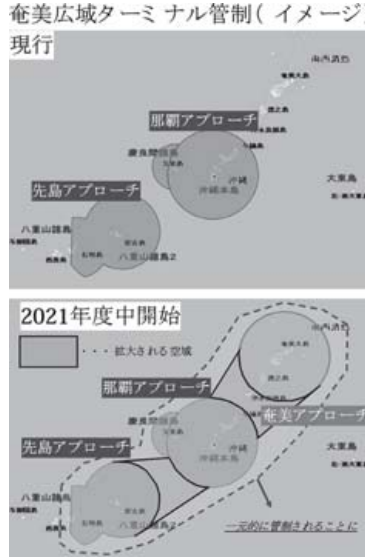
また、パスポート取得（更新・費用の返還時の残り年数分の返金問題）で会社は、2012年のANAとANKの統合当時から規定はあったと発言しました。しかし労使協定は記載がなく、会社が一方的に定めたものであれば不利益変更になり、無効になる可能性があります。JCUは、改めて調査を求めました。8月26日には4回目の団体交渉が行われ、60歳以降も希望者は乗務できる制度への見直し、職場での人権侵害問題についてJCUの見解を質しました。

JCUは引き続き法律の遵守、職場改善を求めています。

安全会議だより 143

奄美地域の混雑緩和へ
ターミナル・レーダー管制化実現

航空安全推進協議会
鹿児島支部は、鹿児島空
港をベースとする日本土
アコモミューター乗員組
合、同客室乗務員組合、
国土交通労働組合鹿児島
鹿児島県に点在する鹿児島空
港の不安定な状況について、鹿児島空港長および鹿児島県知事に対して改善を要請する活動を行っています。鹿児島県の特徴は、生



活に航空輸送を必要とする鹿児島人口が国内一を誇る地域航空頭であることが挙げられます。そのため、鹿児島空港と離島、離島間の航空便が非常に多く、特に奄美地域の航空混雑は長年にわたって安全上の懸念事項とされてきました。この点を解消するため、航空安全会議は長年、航空の一層の安全確保と効率的な運航に資するとして、国に対して奄美空港の飛行場管制業務化およびターミナル・レーダー管制業務の導入を要請してまいりました。これまでの継続要請の甲斐あって、ついに今年度同地域へのターミナル・レーダー管制化が実現することとなり、改めて安全会議の存在意義を感じたところで、現時点では、ターミナル・レーダー業務の導入のみならず、飛行場管制業務化への検討も進んでいるとの回答を当局から得ており、その実現に向けて、航空安全会議は引き続き取り組んでいきます。

普通の暮らしがしたただけなのになぜ ひとりぼっちが怖かった 朝日新聞社会部

私ですが、実家が火事で燃えしまつたことがありますが。仕事中に同僚からの電話が鳴って、「お前の家が燃えているから面談が燃えてしまいました。親はどうしていい？」家の前でポトとしらされた。隣の親戚のおじいさんのたばこの火から面談が燃えてしまいました。

読書のススメ

本書は2016年12月、糸魚川市で起きたラーメン屋さんから起きた火事について、この火事は爆音が深刻だったため裁判となりまして、火事を出したラーメン屋の主人(被告)が、その後のことはテレビでも新聞も報じず、すっかり忘れてしまいました。

本書によると、この火事は爆音が深刻だったため裁判となりまして、火事を出したラーメン屋の主人(被告)が、その後のことはテレビでも新聞も報じず、すっかり忘れてしまいました。

本書によると、この火事は爆音が深刻だったため裁判となりまして、火事を出したラーメン屋の主人(被告)が、その後のことはテレビでも新聞も報じず、すっかり忘れてしまいました。

本書によると、この火事は爆音が深刻だったため裁判となりまして、火事を出したラーメン屋の主人(被告)が、その後のことはテレビでも新聞も報じず、すっかり忘れてしまいました。

IATA事務局長
迷惑旅客 大きな懸念材料



旅客は機内での安全に確信、マスク着用を支持 (IATAプレスリリースより)

ITFニュース

このところ、フライトを乗る機内での安全に確信、マスク着用を支持 (IATAプレスリリースより)

IATAから9月に実施した旅客調査に基づく報告によれば、航空旅行者の殆どは(コロナ禍)航空機の安全性を確保して、また短期間のマスク着用を支持しているという。しかし、大抵の人はCOVID-19の人はCOVID-19の心配を巡る「面倒な問題」旅行ルールの混乱と不安、検査要請、高額な検査費用などに可立っていないのも事実だ。

この調査は世界中の11の航空市場で4700人の旅行者を対象に実施された。その結果は、85%の旅客が航空機は完全に清掃・除菌されていると考えている。65%の旅客が航空機の空気は手荷物と同じくらいクリーンだという。ことに同意している。2020年6月以降に旅行した人たちの中で、86%が以下のCOVID-19対策のお陰で機内が安全だと感じている。「保護対策の実施状況が良好」88%「航空会社の社員が対策を良く実行している」90%。旅客は機内におけるマスク着用(83%)及び着用規則の厳格な実施(86%)を強く支持している。また、マスクの着用要請は可能な限り早く止めればよいと多数の旅客は考えている。

ウーリー・ウォルシュ IATA事務局長は「航空機を利用する旅行者は、機内におけるCOVID-19への感染リスクを最小限にするために実施している安全対策を認めており、大事なと考えている。またこのように、このように、コロナ禍において迷惑旅客が引き起こすトラブルについて航空経営も憂慮しており、労使が協力して取り組むべき課題と言えます」。

けんぴむ

英語の勉強のためにと、数年前から英字新聞の定期購読を始めた。その中に「Amchair Traveler」という(紙上世界旅行)のコラムがおすすめです。コロナ禍で海外旅行ができない昨今、この記事を読めながら理想旅行を楽しんでいます。今月号では、アジアでも人気のあるベトナム・ダナンにほど近いサンワールド・リゾートに建設されたゴルフコースを紹介されています。2018年に建設された比較的新しいこのコースは150メートルあり、橋を支える橋脚が巨大な手になっているのが特徴です。バンデミックがござまりました。ランチ大盛りのフォージと生春巻きを食、この橋をゆっくり歩いてみた。と空想旅行をしてみました。